

富里市まちづくり市民会議（第5回）の記録（要約）

令和元年11月29日（金）、午後7時より、第5回目の「富里市まちづくり市民会議」が開催されました。

今回の会議は、第2～4回のグループワークで検討いただいた意見等を取りまとめて、「提言書（案）」を作成したので、内容を確認いただき委員の皆様から意見をいただきたいと思ひます。

★提言書（案）の内容や作りこみについて 事務局より説明

（（株）ぎょうせい 木戸 研究員）

（要旨）

第2～4回のグループワークにおいて、各委員からの意見を集約して提言書（案）を作成しました。

本日は提言項目や、提言内容、主な取組みなどについて、「フレーズ」や「表現方法」、「追加するもの」などについて委員の皆様からご意見をいただきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。



★関谷教授からアドバイス

○



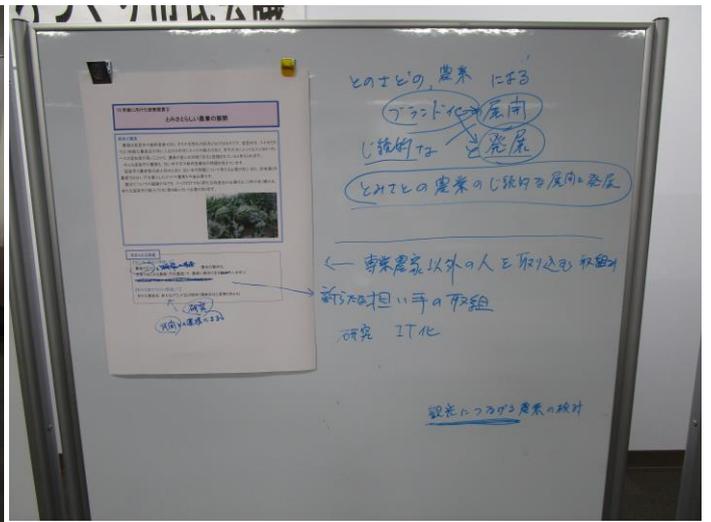
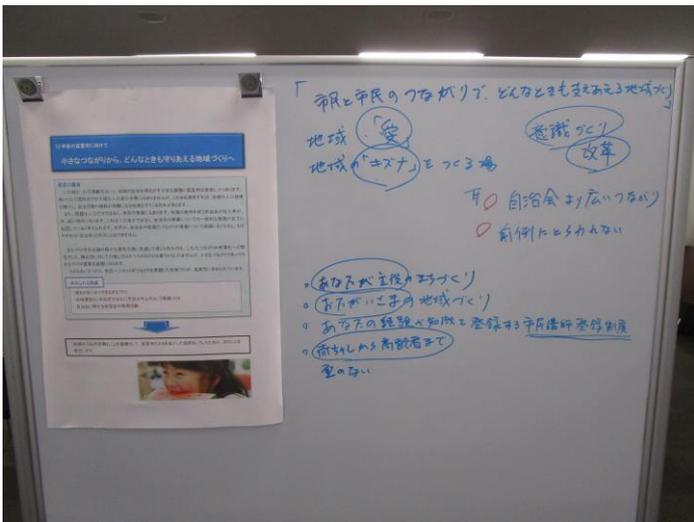
事務局により提言書（案）が示されましたが、本日はこの内容について可能な限り深掘りをしてほしいと思ひます。

色々な「事業」や「人」を掛け合わせることで新たな見方ができ、分野や世代を越えた交わりが大きな力を生み出していく。

また、市外の力を取込むために関係人口を増やし、関係者がお金を生み出す仕組みづくりを考えることも大事になってくると思ひます。

そのような視点も頭に置きながら本日の議論を進めてもらえるとより良い議論ができると思ひます。

★提言書（案）について意見交換



★関谷教授からの講評



皆さんの議論を拝聴していて良い提言書に仕上がるのではないかと思います。
最後の議論の場なので、各項目について少し意見を言わせてもらうので、提言書の整理の段階や、総合計画のつくり込みの時に参考にしていただければと思う。
全体的な提言の中では、行政で設定した事業から始まるのではなく、現場や当事者から発信される課題からの目線で事業立てを考えていくこと、各世代や団体間で多様性を尊重しあえる土台を作ること等を意識して作りこむことが重要だと思う。
提言①では、「空港」や「成田」との係わりが多く出ていたので、もっと前面に出すとか、広域連携等で賑わいを創出していくことがポイントになってくるのではないかと思います。
提言②では、農産物の視点からスイカロードレースをこの項目に入れてもよいのではないかと。表題としては「係わりたくなる農業」なども面白いと思う。農業を観光や学習などに掛け合わせることで新たな視点が見えてくると思う。
提言③では、異世代交流が重要だと意見が出ていたが、ネットワークを作る1つのツールとしてSNS等を上手に活用することも大きなポイントだと思う。また、全ての世代に共通することだが、「話を聞いてもらう環境がある」ということはとても重要だと思う。
提言④では、移動の話がメインだったが、移動しなくてもよい環境をつくることも重要ではないか。それで対応できない部分を公共交通で補っていくという視点も、今後の財政難に対応していくためには必要ではないかと思う。
提言⑤では、地域資源を活用することは重要だと思うが、それを「共有」や「循環」するということも必要ではないか。地域資源は建物だけではなく「人材」や「スキル」「慣習」などもあり、既にあるものを発掘するという視点も重要だと思う。
相互評価のネットワーク（ピアネットワーク）を上手く発展させていくことで、更に展開を広げることができると思う。
このような視点も頭に入れながら、今後の総合計画策定に臨んでほしい。

※次回の第6回市民会議は、令和元年12月26日（木）午後7時より、富里市すこやかセンター2階会議室1でおこないます。

内容については、市長を招き、提言書の発表及び提出となります。